

市長と語ろう地域懇談会 記録

【日 時】平成29年11月17日（金）午後6時30分～8時20分
 【会 場】東山支所
 【対象地域】東山全域
 【出席者】36人
 【記録者】野澤

担当部	意見・要望などの要旨	回答の要旨
総務部	<p>JR貨物は農産物の輸送において必要だと思う。トラック輸送に切り替えた場合はさらにトラック運転手が必要になると思うが、恐らく現状は運転手不足により切り替えることは難しいと思う。そういった点からもJR貨物を残すよう訴えてほしい。</p>	<p>【市長】富良野の農産物においては、8月から翌年の3月末まで貨物列車で札幌や苫小牧方面へ輸送しており、基幹産業である農業を守るためにも鉄路を無くすわけにはいかないと考えている。ホクレンや中央会、各農業協同組合など関係機関の動きがまだ見えてこない状況はあるものの、JR貨物の重要性を訴えていきたい。新聞報道でもあるように、北海道が中心となって交通体系を考えていくような流れになってきていることから、今後貨物に関連する団体と合せて運動を展開していくことになる。</p>
総務部	<p>客車と貨物車を連結させて走らせることはできないだろうか。法律などで問題があるのだろうか。</p>	<p>【市長】客車と貨物車は分けて運行しなければならない。貨物車の本数を増やしていかなければ、農産物の価格などにも影響してくるものとする。今の段階で、客車と貨物車を連結させるという話はできない状況であるが、住民の意識向上のために鉄路の存続に向けた署名活動も今後検討していきたい。</p>
総務部	<p>JR北海道は今まで何をしてきたのか。上下分離方式という話もあるが、他の路線がなくなると北海道全体の鉄道のつながりがなくなり、鉄路の機能として意味がなくなる。北海道を中心に考えるというより、国が何とかするように考えるべきと思う。</p>	<p>【副市長】今回の懇談会において、市長からは国鉄の分割民営化を実施し、現在JR北海道の株主でもある国の責任として、この課題は国が考えるべきところがあるのではないかというお話をさせていただいている。紋別市からは、鉄路が無くなると大変であるとお話を聞いており、鉄路を守るためにどのようにしたら良いか、今後もみなさんと話し合っていきたい。</p>
総務部	<p>JR北海道が平成32年度に資金ショートするというお話があっ</p>	<p>【企画振興課長】JR北海道の説明では、今後何もしなければ平</p>

<p>総務部</p>	<p>だが、原資がなくなるということか。原資だけには手をつけないよう、JR北海道自体が経営改善をしていかなければならないと思う。</p> <p>5月31日の国会議員への要請活動で、道内選出の国会議員はどのような活動をしたのか。</p>	<p>成32年度末には資金がショートするということである。場合によっては経営破たんという可能性もあり得るという話を聞いている。</p> <p>【市長】要請の段階では、JR北海道の実情をあまり把握していない国会議員が多かったようだが、最近は各自治体による要請活動や新聞報道などにより関心を持つようになり、北海道選出の国会議員の間でも少しずつ鉄路の問題について気運が高まっている。路線ごとに話し合うのではなく、将来の北海道の交通体系を考えながら活動していく必要があると考える。</p>
<p>建設水道部</p>	<p>昨年もお願いをしたが、未舗装の市道の整備をお願いしたい。地域としても引き続き要請していきたい。</p>	<p>【建設水道部長】東山地域連絡協議会を通じて地域要望をいただいているが、要望通りに進んでいない状況である。市道については、危険箇所や損傷の激しいところを優先的に整備しており、東山地域においては河川を優先的に整備している。また、他地域において優先すべき整備箇所もあり、すぐに整備することは難しい状況であることをご理解いただきたい。</p> <p>【市長】予算の関係上、富良野市全体において優先順位を決めた中で事業を進めている。東山地域連絡協議会からは多くの要望が上げられていることから、優先すべきものなど内容を整理していただきたい。できる限り早い段階で整備できるようにしていきたいと考えているので、ご理解いただきたい。</p>
<p>総務部</p>	<p>地域おこし協力隊員は地域の活性化に貢献しており、できれば正規職員として採用できないか。できないのであれば、違う形で市として地域活性化に向けた仕組みを作してほしい。</p>	<p>【市長】協力隊員は離職後も自ら地域に住み続けることなどを条件に活動していただいている。全国にはさまざまな人材がおり、人に限定した視点ではなく、広い視点で人材を育成していくことが重要と考えている。協力隊員は決められた期限の中で、地域の人たちと交流などをしながら、地域を活性化させるために活動し</p>

<p>総務部</p>	<p>まちなか居住推進事業の具体的な内容と予算の規模が知りたい。</p>	<p>ている。離職後も職員という立場ではなく、自ら東山地域に住みながら引き続きこれまでの経験を生かして活動してほしいと考える。</p> <p>【建設水道部長】中心市街地活性化計画の中の居住振興を進める上で、全体的な人口減が進む中で特に中心市街地の人口減が著しいことから、居住人口を増やすために実施して事業である。民間のアパートの空き家が36戸で、1軒家を含めると相当な数の空き家があり、まちなかに住んでいただきながら、歩いて生活できるような環境づくりを進めていきたいと考えているが、他と比べると家賃が高いことから、費用の一部を助成している。</p> <p>【市長】中心市街地の70ヘクタールを計画地域として、30ヘクタールにある空き家に住んでもらうため事業を進めており、老若男女問わず、希望する方には中心市街地に住んでもらいたいということで事業を実施している。</p>
<p>総務部</p>	<p>まちなか居住推進事業の趣旨は理解するが、利便性の良いところに予算をつけるのであれば、中心市街地以外の場所も住みやすくするような施策を考えていただきたい。</p>	<p>【総務部長】住みやすくなる施策の一つとして、東山地域においては平成27年に光回線整備の要望があり、平成29年度に第1段階として拠点施設までの整備を進めており、防災や教育環境の向上を図ることを目的に、東山支所をはじめ東山地域の各小中学校、保育所が拠点施設として整備する。また、回線から150メートル範囲においては個別での整備も可能となるが、範囲外の場所については個別のニーズを把握しながら、今後対応を検討していく。</p>
<p>総務部</p>	<p>テレビ放送が地デジとなり、テレビが映らない三の山付近では光ケーブルにより視聴しているが、ケーブルの使用料をNTTに支払わなければならない。本来は個人で負担すべきものではないと</p>	<p>【総務部長】地域の方から話があり、事前に内容については承知している。利用者の負担軽減については現在、市役所内部で検討している。難視聴地域としては、西達布のたちばな、島の下、東</p>

	<p>思う。将来的なことを考えると、このような負担がある地域であれば新規就農者も来ないのではないか。他の難視聴地域では国道に電柱を建てて、個人に対しては負担金が発生しないと聞いている。できれば市として負担できないものか。</p>	<p>山の3カ所があり、それぞれ負担方法にも違いがあることから、実情を整理しながら、新年度予算に計上していきたい。</p>
総務部	<p>スマート農業の促進で、栽培用ハウスはどれくらいの費用がかかるのか。</p>	<p>【経済部長】設備費用としては100万円程度のものが多く、対象費用の25%を助成し、上限は22万円としている。</p>
建設水道部	<p>数年前から地籍調査しているが、予算の関係上あまり進んでいない状況なので、できれば早期に進めていただきたい。</p>	<p>【建設水道部長】国費を含めた中で事業を実施しており、国に対して予算要求をしているが、思いどおりに予算が付かない状況である。今後も国に対して要求するとともに、少しでも進捗が図れるよう努力していきたい。</p> <p>【市長】地籍調査事業は、国土交通省から着手の指示が出されているが、予算が伴ってきていないのが現状である。すべての調査を終えるのに60~70年くらいかかる事業であり、東山地域は当初5年くらいで完了する予定であったが、進んでいない状況になっている。来年度からは国に対して予算の増額を要求していきたい。また、土地の所有者が不明な点も調査が遅れている一つの要因であり、今後もみなさんのご協力をお願いしたい。</p>
経済部	<p>地域住民の協力により、野菜工房しずくの建物ができた。今年は約6千人の来場者があり、440万円ほどの売り上げになった。これからも魅力的な施設にしたいと思っているので、今後も協力をお願いしたい。</p>	<p>【経済部長】市としても観光パンフレットなどにも掲載するなどして、協力していく。</p>
経済部	<p>協力隊の協力により、フォトコンテストを行うなど、さまざまな地域の行事を実施してきた。観光客など若い人たちが宿泊できるような環境づくりや地域の農産物のPRにも協力をお願いした</p>	<p>【市長】民泊については、北海道が条例で定めることになっており、富良野市においても民泊の話があり、条件が合えば今後東山地域においても民泊できるような状況になってくると考える。</p>

建設水道部	い。 三の山幹線道路の入り口で、国道の水が幹線道路に入ってくる。 U字溝を入れてくれたが、少し段差が付いているので開発局に改善するよう話をしてほしい。	【建設水道部長】現地を確認し、早急に関発局に話をする。
-------	---	-----------------------------